

## 諏訪蚕糸野球部資料指定候補リスト

	資料名	資料年代年月日	内容等	指定候補とする理由
1	遠征試合球	昭和5(1930)年1月5日	台湾遠征試合球 対嘉義農林戦 甲子園歴史館貸出展示中	台湾遠征の試合に使用されたことが明記されているため。嘉義農林学校は翌年の昭和6年甲子園大会で初出場し準優勝した台湾の強豪校である。
2	遠征試合球	昭和5(1930)年1月4日	台湾遠征試合球 対台南一中学戦 蚕糸博物館保管中	台湾遠征の試合に使用されたことが明記されているため
3	遠征試合球	昭和5(1930)年1月11日	台湾遠征試合球 対台北一中学戦 甲子園歴史館貸出展示中	台湾遠征の試合に使用されたことが明記されているため
4	遠征試合球	昭和5(1930)年1月7日	台湾遠征試合球 対高雄中学戦 蚕糸博物館保管中	台湾遠征の試合に使用されたことが明記されているため
5	バット	大正13年-昭和10年の表記	昭和4,5年甲子園出場 甲子園歴史館貸出展示中	使用期間が表記されている。昭和4・5年の甲子園大会出場時に使用されたものであるため
6	全勝 トロフィー	昭和5(1930)年1月12日	台湾遠征全勝優勝 トロフィー 甲子園歴史館貸出展示中	台湾遠征での全勝を証明するもの。優勝であることが明記されている。
7	準優勝盾	昭和5(1930)年8月20日	甲子園大会 蚕糸博物館展示中	昭和5年の甲子園大会準優勝を証明するもののため
8	激励文	昭和4(1929)年8月7日	中村百太郎(後援会)⇒諏訪 蚕糸野球部  (手紙内容) 甲子園では目的達成のため十二分の力を出せ。岡田コーチに連絡済み	中村百太郎(中村製糸所経営)は野球部後援会幹部。 製糸会社が支援をしていたことを証明するもの。製糸会社の経営者がただ資金を寄付してだけでなく、甲子園での活躍を願っていたことを示すもの
9	激励文	昭和4(1929)年8月11日	吉田佐文治(後援会長)⇒甲子園出場選手  (手紙内容) 資金調達中で出発が遅れている。甲子園で全力を尽くせ	吉田佐文治は製糸会社・吉田館経営。第3代野球部後援会長。 製糸会社が支援をしていたことを証明するもの。製糸会社の経営者がただ資金を寄付してだけでなく、甲子園での活躍を願っていたことを示すもの
10	激励文	昭和4(1929)年8月13日	吉田佐文治(後援会長)⇒甲子園出場選手  (手紙内容) 諏訪蚕糸野球部ノ興廃ハ高松トノ対戦ニアリ 各員の努力を望む	製糸会社が支援をしていたことを証明するもの。製糸会社の経営者がただ資金を寄付してだけでなく、甲子園での活躍を願っていたことを示すもの